千葉県・千葉市教員等育成指標～信頼される質の高い教員等の育成を目指して～

養護教諭の資質向上に関する指標

六つの柱	構成要素	養成段階		千葉県・千葉市が求める教員像	ステージⅠ 【成長期】 （保健室経営、学校保健に関する指導等） 養護教諭としての 自覚と資質能力の向上	ステージⅡ 【発展期】 （学校保健の推進、校務分掌等の ミドルリーダー） ミドルリーダーとしての 自覚と資質能力の向上	ステージⅢ 【充実期】 （学校運営等、職員全体及び地域の 養護教諭へ指導・助言） チーム学校をリードする 自覚と資質能力の向上
教職に必要な素養	使命感　責任感 教育的愛情　高い倫理観 コンプライアンス 服務規律の遵守	教職の意義 教員の役割 教職への意欲 課せられる義務等	教育実習・ちば！教職たまごプロジェクト【指導教員のもとで体験を積み、学校教育の実際を体験的に理解する】	○人間性豊かで、教育愛と使命感に満ちた教員 ○高い倫理観を持ち、心身共に健康で、明朗、快活な教員 ○幅広い教養と学習指導の専門性を身に付けた教員 ○幼児児童生徒の成長と発達を理解し、悩みや思いを受け止め、支援できる教員 ○組織の一員としての責任感と協調性を持ち、互いに高め合う教員	教員としての職務に対する使命感、責任感、教育的愛情を持ち、教職に対する強い情熱を持っている。また、教育公務員として高い倫理観と不祥事根絶への意識を持ち、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行している。		
	社会性 コミュニケーション能力	広い視野 教養等を学び続ける意欲 コミュニケーション能力			豊かな人間性や人権意識を持ち、他の教職員や子供、保護者、地域住民等と、自らの意見も効果的に伝えつつ、円滑なコミュニケーションを取り、良好な人間関係を構築している。		
	社会の変化への対応 広い視野 学び続ける意欲				教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて探求心を持ちつつ自律的かつ継続的に新しい知識・技能を学び続けている。		
	教職に関する教養	教育の理念、歴史、思想 社会的・制度的・経営的事項等について基礎的知識（選択）			教育に関し、社会的・制度的事項やその意義、歴史等について理解するとともに、最新の動向に関し情報を収集している。		
専門領域に関する資質能力	保健管理	学校保健安全法の理解 保健管理に関する基本的な理解と技能の習得			健康診断や健康観察等を通じて子供の健康状態を把握するとともに、救急処置、疾病の管理・予防、学校環境衛生管理に関する専門的な知識や技能を活かし、子供が安心して学校生活を送れるよう組織的に対応している。救急体制や心のケアの支援体制等、専門的立場から校内研修や関係機関と連携する等、校内の危機管理体制の整備に積極的に参画している。		
	保健教育	学習指導要領の理解 保健教育の基本的な知識と技能の習得			学習指導要領を理解した上で、学級担任や教科担当等と連携し、養護教諭の専門性を生かした保健教育に積極的に参画している。子供の発達課題や健康課題を把握し、課題解決に向けた保健教育に取り組んでいる。		
	健康相談及び保健指導	健康相談及び保健指導の基本的な知識と技能の習得			養護教諭の職務の特質から子供の心身の健康課題を発見しやすい立場にあることを生かし、子供の小さな変化に気づき、多様化・複雑化する子供の心身の健康課題の早期発見・早期対応に努めている。また、子供一人一人の発達の段階を考慮した健康相談や保健指導を通じて子供の自己解決能力を育み、専門的立場から受診の必要性を判断し、教職員や関係機関と連携する等、健康課題の解決に向けて取り組んでいる。		
	保健室経営	保健室経営に関する基本的な知識と技能の習得			学校保健計画や学校安全計画の立案、実施、評価に積極的に参画するとともに、子供の健康課題をとらえた保健室経営計画を立案し、学校教育目標や学校保健目標等に基づく保健室経営を計画的、組織的に進めている。また、保健室に必要な環境を整備し、学校保健活動のセンター的機能を果たしている。		
	学校保健組織活動	保健組織活動に関する基本的な理解			学校保健活動の推進において、全体的な推進体制の中核として、教職員や関係者の連携を調整するコーディネーター的役割を果たしている。保健主事等とともに、学校保健委員会等の企画・運営に積極的に参画している。		
生徒指導等に関する実践的指導力	子供の発達過程や特徴の理解と信頼関係の構築 教育相談及び生徒指導 個別指導	子供の心身の発達の過程、特徴 学校における教育相談の意義、理論及び進め方 生徒指導の意義			子供の心身の発達の過程や特徴を理解し、子供との信頼関係を構築するとともに、学校の教育活動全体を通じて、子供が自分らしい生き方を実現するための力を専門的な立場から育成している。教育相談や生徒指導の意義や理論を理解し、子供一人一人の課題の解決に向け、個々の悩みや思いを共感的に受け止め、学校生活への適応や人格の成長への支援をしている。		
	人権教育の推進 生徒指導上の課題への対応	人権教育の理念 理念に基づく、いじめ等の生徒指導上の課題に対する適切な対応の在り方			人権教育の理念のもと、いじめ、不登校、情報モラル等生徒指導上の課題に対し、他の教職員、保護者、関係機関等との連携を図りながら、適切に指導している。		
チーム学校を支える資質能力	教育課程の管理・運用	各学校で編成される教育課程についての意義及び編成の方法 各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義			カリキュラム・マネジメントの意義を理解し、教科等横断的な視点や教育課程の評価、人的・物的な体制の確保・改善等の観点を持って、組織的かつ計画的に教育課程を編成・実施し、常に学校の実態に応じた改善をしている。		
	校務分掌と連携・調整	校内組織や校務分掌の理解 養護教諭に求められる役割			学校組織マネジメントの意義を理解した上で、学校保健の中心的な役割を担い、学校運営の持続的な改善を支えられるよう、校務に積極的に参画し組織の中で自らの役割を果たしている。		
	家庭や地域、関係機関等との連携・協働	取組事例を踏まえた家庭・地域との連携、協働の仕方 学校内外の関係機関との連携、分担して対応することの必要性			家庭や地域、就学前から高等教育までを通した異校種間、関係機関との連携・協働に努め、地域とともに学校保健の推進に取り組んでいる。		
	研修（研究）体制	研究と修養の必要性 資質能力の向上の必要性			研修履歴の記録を基に、自らの学びを振り返り、研修（研究）における成果と課題を把握するとともに、教員としての資質能力の向上を図るために必要な研究と修養に努めている。また、校内研修を教員同士の学び合いの機会として捉え、積極的に参加している。		
特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	特別な配慮や支援を必要とする子供の理解	特別な配慮や支援を必要とする子供の特性及び発達の理解			特別な配慮や支援を必要とする子供の特性等を理解し、きめ細かく支援するために、子供一人一人の教育的ニーズや健康状態を把握している。		
	学習上・生活上の支援	学習上の支援の方法と生活上の支援の方法			保護者や他の教職員、関係機関等と連携しながら、特別な配慮や支援を必要とする子供の教育課程の編成について適切に対応し、誰一人取り残すことのない個別最適な学びの実現を図っている。また、状況に応じた生活上の支援を工夫している。		
ＩＣＴや情報・教育データの利活用等	学校保健に関するＩＣＴ利活用	情報活用能力の育成 ＩＣＴを活用した保健教育等の指導法 ＩＣＴを活用した子供の支援			学校におけるＩＣＴ利活用の意義を理解し、保健教育や教育相談等においてＩＣＴを効果的に活用するとともに、子供の情報活用能力（情報モラルを含む）を育成するための取組を実践している。		
	ＩＣＴによる校務効率化	情報機器の操作 情報機器の活用に関する理論及び方法 ＩＣＴを活用した校務の推進			ＩＣＴは学校教育を支える基本的なツールとして必要不可欠なことを理解し、教育や学校保健の管理に係るデータの蓄積・分析・利活用等を通して、校務の効率化を進めている。		